

栄光の軌跡

11月 3日 名寄地区新人バドミントン大会
男子ダブルス第4位

11月 3日 平成29年度市民総合文化祭小中学生作品展示会
硬筆の部 土別市教育委員会教育長賞
毛筆部門 中学生の部 銅賞

11月10日 平成29年度「土別市少年の主張大会」
佳作「努力」



コミュニティ・スクール先進地視察がありました

11月13日(月)に「コミュニティ・スクール先進地視察」(教育委員会主催)が占冠村立占冠中央小学校で行われました。本校からは佐々木博さん(学校評議委員・多寄地区コミュニティ・スクール推進委員長)と石川和則さん(学校評議委員・多寄地区コミュニティ・スクール推進委員)が参加されました。お忙しい中ありがとうございました。

多寄地区では来年4月からコミュニティ・スクールが導入される予定です。コミュニティ・スクールとは、学校と地域・保護者の方が共に多寄の子育てについて話し合い、多寄の子どもたちを地域の大人達がみんなで守り育てる仕組みです。

中学校では12月7日(木)の参観日の全体懇談会の中で、教育委員会からコミュニティ・スクールの説明があります。是非、ご参加くださるようお願いいたします。



校舎屋上の防水シート張替工事が終わりました

10月から始まった校舎屋上の防水シート張替工事が11月上旬に無事終了しました。今後は校舎内の雨漏り部分の天井張替工事が行われる予定です。また、体育館のつり天井工事も順調に進んでおり、体育館内部には天井まで足場が組まれました。今後は、つり天井部分を剥がし、天井内部に断熱材の吹付工事が行われます。2月中旬までの間、保護者・地域の方にはご不便をおかけします。引き続き工事車両や資材等には十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

12月の行事予定

| | | | |
|--------|--------------------------|--------|--------------------|
| 1日(金) | 入試模擬テスト(3年) 1・2年期末テスト | 18日(月) | 朝会 |
| | | 20日(水) | 職員会議 |
| 4日(月) | 朝会 | 21日(木) | スキー授業(全学年) |
| 5日(火) | 設置連合同クリスマス会 | 22日(金) | 2学期終業式・大掃除 |
| 7日(木) | 参観日 | 23日(土) | 冬季休業開始~1月17日 天皇誕生日 |
| 12日(火) | 常任委員会 | | |
| 13日(水) | 代議員会 | | |
| 14日(木) | 校内研修 | | |
| 15日(金) | 巡回文庫 | | |



学校は地域の財産

校長 工藤 朝博

ここ数日、毎日のように雪が降っています。春から工事を行っていた日向スキー場のペアリフトが完成し、本格的な冬を待ち望んでいた関係者は、ホッとしていることと思います。小さな子どもを隣に寄せ、大勢の家族で賑わうスキー場になってほしいと思います。本校では10月から始まった屋上の防水シートの張替えや吹き抜け天井のガラスの取り換えが終わり、現在は体育館のつり天井をはがす作業と雨漏りでシミだらけになった天板の張替え作業を行っています。3月の卒業式までには全ての工事を終える予定です。学校は地域の貴重な財産です。市の財政が厳しい中、これから20年30年と大切に使用しなければなりません。もちろん、耐震化が終わっている中多寄小学校も同じです。遊休施設にしておくのではもったいない話です。

10月4日の「子ども議会」で、さんが「旧中多寄小学校を総合施設として利用してはどうか」という提案をしました。体育館は誰もが気軽に運動できる場所に、普通教室は会議室や休憩室に、家庭科室は料理教室などに活用し、多寄の人々が自由に交流し元気になる場所にしたいと訴えていました。市長からは、温根別地区の体育館利用を例にあげ、多寄地区でも住民の意見やアイデアを聞かせてほしいという趣旨の発言がありました。(「土別市議会」で検索すると「土別市議会トップページ」がでます。左側のメニューの一番下にある「子ども議会」をクリックし、「平成29年度子ども議会」で当日の映像を見ることができます。さんの発表と共にご覧ください)

生意気なことを言うようですが、子どもたちの願いを受け止め、実現に向けて行動するのが私たち大人の努めのような気がします。何事も簡単に実現できるとは思いませんが、行動しなければ間違いなく何も変わりません。自分の夢を熱く語る子どもたちに「何を言っても無駄だからあきらめなさい」と教える大人にはなりたくありません。中多寄小学校は、1987年に建築されており、今年で築30年になりますが、1999年に建てられた本校と12年しか変わらないのです。修理をすれば十分使える施設です。もちろん、水道や暖房などの修理は市の協力を得なければできません。しかし、自分たちにもできることがあると思います。冬の間にご各家庭で、中多寄小学校の活用方法について家族みんなで真剣に話し合うのも楽しい団欒の時間になると思います。いずれにしても、現在の中多寄小学校は体育館以外は備品が散乱している状態です。地域住民みんなの力で校舎内をきれいに掃除するところから始めるのも一案だと思います。

11月3日の朝、37線の「躍進橋」の上から川面を見て驚きました。数匹のサケが悠然と泳いでいるのです。サケはだいたい4年で戻ってくるといいます。初めて来た年の4月に子どもたちと一緒に放流した稚魚が戻ってきたのかもしれないと思うと更に愛おしくなりました。こんな喜びを味わうことができたのも、阿部さんはじめ「タヨロマ川サケ放流実行委員会」の皆さんの努力のおかげです。先日は中島さんが両手いっぱいドライフラワーを持ってきてくださいました。若草色と薄い桃色の小さな花がたくさんついたとても綺麗なドライフラワーです。生花がなくなり、すっかり殺風景になっていた学校の玄関ホールが再び華やかになっています。多寄で暮らしている一人ひとりの努力とあたたかい想いが多寄で暮らす人々を幸せにしています。地域の宝をどうしたいのか、このまちをどうしたいのか、私たちにとって何が幸せか、決めるのかここで暮らす私たち一人ひとりです。



学校教育目標「豊かな心情をもち、根気強く、実行力に富む生徒の育成」

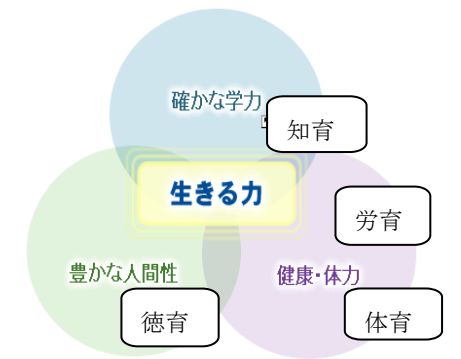
○思いやる心・・徳育の気（徳育） ○たくましい身体・・強靱の気（体育） ○確かな思考力・表現力・判断力・・向上の気（知育） ○働くことをいとわぬ精神・・忍耐の気（労育）

<めざす生徒像>

真心をもってやりぬく
た たくましい人(体育)
よ よく考える人(知育)
ろ ロマン豊かな人(徳育)(労育)

重点目標「規則正しい生活をし、先々を見とおしながら、よく考えて行動できる生徒の育成」

今年度の重点目標を具体的な教育活動に！！



母校講話（11月6日）

第40期の卒業生である齊藤敦さん（山形大学大学院理工学研究科准教授）をお招きし、母校講話を実施しました。講話では、自分の研究にちなんだ実験をしてくださいました。液体窒素を使った超伝導体の特性の紹介では、磁石の上に浮いた状態で安定する超伝導体に生徒たちは大きな歓声をあげていました。講話のなかでは、「社会人になると解答のない問題ばかりに突き当たる。中学校や高校は正解のある問題を解いて練習する期間。みなさんの夢や幸せのために応援したいと思っている先輩が山形大学にいることを覚えておいて欲しい」と話されていました。また、同日18時30分から多寄公民館と支区PTA共催の「地域づくり講演会」もおこなわれました。夜の講演で齊藤先生は、故郷多寄の魅力について話されました。地域の方が80名近く参加し、たいへん好評でした。



社会体験学習「職場見学」（11月14日）

キャリア教育の一環として1学年は「職場見学」を行っています。職業や勤労への関心を高め、夢や希望をもって充実した学校生活を送れるようにすることを目標にしています。今年は「ホテル美し乃湯温泉」と「北星信金士別中央営業部」を訪問しました。働く喜びや必要な資格についての説明を受け、普段目にするのできない金庫の中を見学できました。今は発表にむけて、自分の感じたことや学んだことを整理しています。学習をとおして将来への夢や希望をふくらませ、より充実した学校生活をおくることを期待しています。



生徒会企画「リーダー探し」（11月16日）

後期生徒会が企画した全校生徒で取り組むレクリエーションです。お昼休みに多目的ホールで行いました。全校生徒が仲良く学校生活を過ごせるように、生徒会役員が計画して取り組んでいます。



市P連研究大会（11月18日）

11月18日に士別市民文化センターで市P連研究大会が行われました。10月の士別地区意見発表大会で最優秀賞を獲得した3年生の さんが、多くの参加者を前に「ありがとう」の演題で堂々と発表しました。



道徳講話（11月20日）



11月は能勢先生の「道徳講話」がありました。化学の歴史をとおして、本のよさについて話されました。理科の教科書に書かれてある様々な事項を話されたあと、「りんごかもしれない」という本と「君たちはどう生きるか」という本の紹介がありました。先生自身が、これらの本と出会い、自分の見方や感じ方を変えることができたり、勉強する意味や自分はどうか生きるか、ということを考えることができたそうです。

～ 後期生徒会本部・常任委員会の紹介 ～

10月2日に認証式があり、1・2年生が学校の中心となり活動を行っています。

11月は母校講話の司会進行やリーダー探し、赤い羽根募金などの取組を行いました。後期も活発な活動を期待しています。

【生徒会本部】◎会長： (2年) ○副会長： (2年) ○書記： (1年)
【生活常任委員会】◎委員長： (2年) ○副委員長： (3年)
【文化常任委員会】◎委員長： (2年) ○副委員長： (3年)